

町内遺跡発掘調査報告書 VII

令和3年3月

東北電力ネットワーク株式会社

紫波町教育委員会

例 言

1 本書は、令和元年度実施した日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査についての記録保存を目的とした緊急発掘調査及び、令和元年度～令和2年度実施した町内遺跡の有無確認調査（試掘調査）に関する報告書である。

2 調査概要

・日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査

調査事由 東北電力ネットワーク株式会社日詰変電所配開改良工事に伴う緊急発掘調査

調査期間 令和元年8月1日～9月4日

調査面積 399.28㎡

・町内遺跡の有無確認調査（試掘調査）

文化財保護法第93条・・16遺跡・18箇所

文化財保護法第94条・・1遺跡・1箇所

3 調査主体 紫波町教育委員会

教育長 佗美 淳

調査組織 紫波町教育委員会事務局 教育部長 八重嶋 靖（兼生涯学習課長）

生涯学習課 室長 沼田 信一

主任 岩館 岳

主事 上方 雄理

主事 八角 昂佑

主任文化財専門員 鈴木 賢治

※調査担当及び本書の執筆及び編集は、鈴木 賢治が行った。

4 本調査は、東北電力株式会社と紫波町との間で締結された協定書に基づき、紫波町教育委員会が野外調査・室内整理及び報告書編集を実施した。本調査に係る費用は事業主体である東北電力株式会社（令和2年度から東北電力ネットワーク株式会社が事業継承）が負担した。

5 遺構の平面実測図・座標測量は株式会社グランプラスに委託した。

6 土層図は、堆積の仕方を重視し線の太さを使い分けた。

土層層相の色相観察は、小山・竹原著「新版標準土色帖」日本色研事業株式会社を使用した。

7 本書に記載した地形図は、国土地理院発行の5万分の1日詰を使用した。

8 各遺構名と遺構記号は次の通り。掘立柱建物跡—SB、溝跡—SD、土坑跡—SK、柱穴—P

9 座標数値

日詰西Ⅱ遺跡 基-1 X=-49562.980 Y=28185.954

基-2 X=-49545.475 Y=28197.070

10 発掘調査に伴う出土遺物及び諸記録は、紫波町教育委員会において保管している。

11 現場作業及び室内整理作業は、次の方々に参加・協力していただいた。（五十音順 敬称略）

伊藤 敬子、小澤 功子、小松 愛子、高橋 洸介、吉田 千鶴子

目 次

例 言
目 次
本 目 次
挿図目次

表 目 次
写 真 目 次
抄 録

本 目 次

I 日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査	1
1 遺跡の環境	1
(1) 位置	1
(2) 地形と地質	1
(3) 周辺の遺跡	2
2 調査の概要	4
(1) 調査に至る経過	4
(2) 第1次調査の概要	4
3 調査の成果	5
(1) 検出遺構	5
(2) 出土遺物	14
4 まとめ	15
II 町内遺跡の有無確認調査（令和元年度～令和2年度試掘調査）	16
文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図①～⑨	17～25
文化財保護法第94条 試掘調査位置図・トレンチ平面図	26

挿図目次

・日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査

第1図	日詰西Ⅱ遺跡 位置図 (1:50,000)	1
第2図	周辺の主な遺跡 位置図 (1:20,000)	2
第3図	第1次調査 遺構配置図 (1:250)	4
第4図	SB-01～SB-03 掘立柱建物跡 平面図・断面図 (1:50)	6
第5図	SD-01・SD-02 溝跡 平面図・断面図 (1:50)	9
第6図	SK-01～SK-04 土坑跡 平面図・断面図 (1:50)	10
第7図	P1～P77 柱穴 断面図 (1:50)	13
第8図	出土遺物 (1:2)	14

・町内遺跡の有無確認調査 (令和元年～令和2年度試掘調査)

第1図	町内遺跡の有無確認調査 遺跡位置図 (1:60,000)	16
-----	------------------------------	----

表目次

・日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査

表1	周辺の主な遺跡一覧表	3
表2	SB-01～SB-03 掘立柱建物跡 埋土注記一覧表	7
表3	SD-01・SD-02 溝跡、SK-01～SK-03 土坑跡 埋土注記一覧表	11
表4	SK-04 土坑跡 埋土注記一覧表	12
表5	P1～P77 柱穴 規模一覧表	12
表6	出土遺物一覧表	14

写真目次

第1図版	日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査 調査区全景・土坑跡・溝跡・断面、出土遺物
第2図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況①
第3図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況②
第4図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況③
第5図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況④
第6図版	文化財保護法第93条 試掘調査状況⑤
第7図版	文化財保護法第93条 試掘調査出土遺物
第8図版	文化財保護法第94条 試掘調査状況

I 日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査

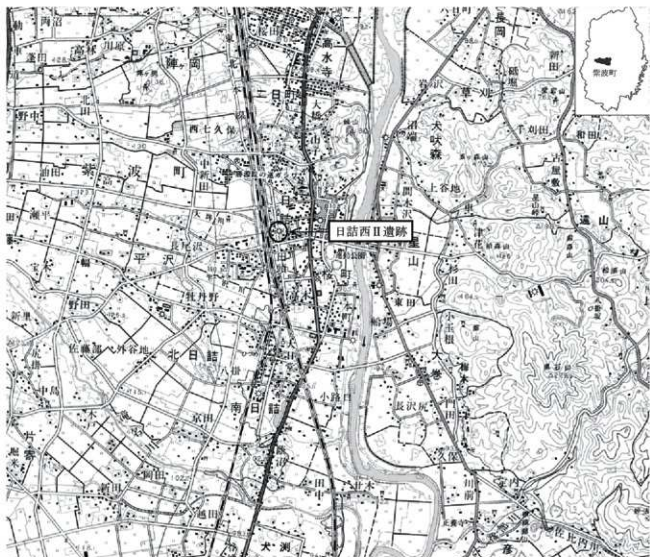
1 遺跡の環境

(1) 位置

本遺跡は、JR東北本線紫波中央駅から南東に約0.18km、岩手県紫波郡紫波町日詰西五丁目地内に位置する。遺跡範囲は南北に約81m、東西に約144mと推測される。

(2) 地形と地質

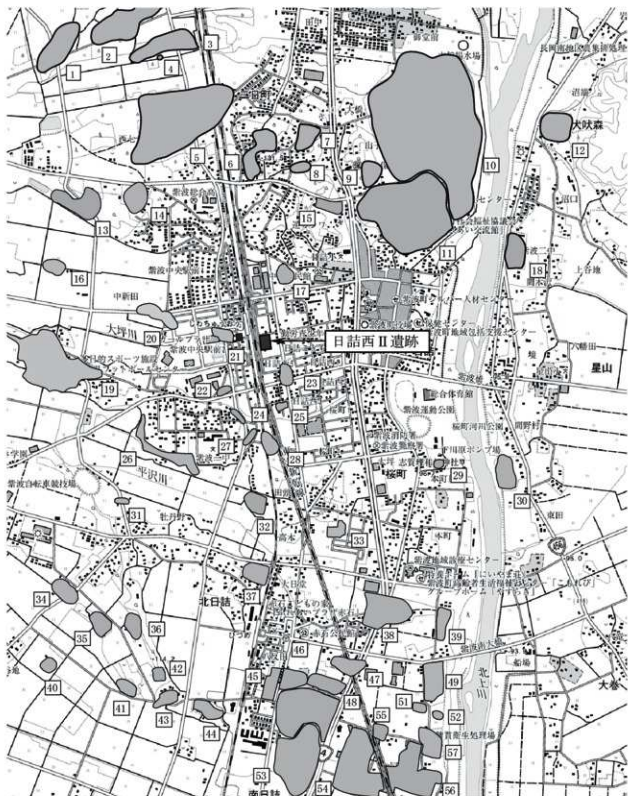
本遺跡の東側約1.1kmには、紫波町の中央を縦断するように北上川が南流する。平地は、西側一帯に奥羽山脈から流れ出て北上川に注ぐ滝名川・大坪川・五内川等の中小河川群によって、広く扇状地や氾濫低地が形成されている。北上川中流域西側の扇状地性段丘は、西根段丘・村崎野段丘・金ヶ崎段丘と大きく三分類されるが、紫波町内に相当するものとして、石鳥谷段丘・二枚橋段丘・都南段丘と命名された段丘群が知られている。



第1図 日詰西Ⅱ遺跡 位置図 (1 : 50,000)

(3) 周辺の遺跡

本遺跡の北側に善念寺山遺跡・日詰下丸森遺跡、南側に西裏遺跡・日詰西遺跡、西側に桜町下野沢遺跡・日詰下野沢遺跡、東側に間木沢遺跡などが所在する。また、紫波町内には、県指定史跡である川原毛瓦窯跡、舟久保洞窟、町指定史跡である陣ヶ岡陣営跡、樋爪館跡、高水寺城跡など貴重な遺跡が多く存在する。



第2図 周辺の主な遺跡 位置図 (1 : 20,000)

番号	遺跡名	所在地	種別・時代	遺物
1	平坊Ⅱ	陣ヶ岡字平坊	集落跡・古代	土師器
2	瀬沼Ⅱ	陣ヶ岡字瀬沼	集落跡・古代	土師器、須恵器
3	川原毛	二日町字川原毛	集落跡・古代	土師器、須恵器
4	川原毛瓦窯跡	二日町字川原毛	窯跡・近世	向鶴紋軒丸、軒平瓦、窯道具
5	杉の上Ⅱ	二日町字七久保、陣ヶ岡	集落跡・古代	土師器、須恵器
6	善念寺山	二日町字北七久保	散布地・縄文	土師器
7	善念寺山古墳	二日町字北七久保	墳墓・縄文	縄文土器
8	善念寺山Ⅱ	二日町字北七久保	散布地・縄文	縄文土器、石器
9	山子	二日町字山子	散布地・縄文	縄文土器、石器
10	高水寺城(郡山城)	二日町字古館	城館跡・中・近世	陶磁器(古瀬戸産、珠洲産、中国産)
11	吉兵衛館	二日町字向山	城館跡・中・近世	陶磁器
12	大吠森館	大吠森字沼口	城館跡・中世	一
13	日詰七久保	日詰字七久保	散布地・古代	須恵器
14	七久保	日詰字七久保	窯跡・古代	土師器、須恵器
15	戸部御所(西御所)	二日町字七久保	城館跡・中世	一
16	日詰上新田	日詰字上新田	散布地・古代	土師器
17	日詰下丸森	日詰字下丸森	散布地・古代	土師器
18	間木沢	大吠森町字間木沢	散布地・縄文・近世	縄文土器、石器、土師器、須恵器
19	桜町上野沢	桜町町字上野沢	散布地・縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器
20	桜町下野沢	桜町町字下野沢、紫波中央駅前二丁目	散布地・古代	土師器
21	日詰下野沢	日詰字下野沢	散布地	一
22	桜町中桜	桜町字中桜	散布地・縄文・古代	縄文土器、石器、土師器
23	西裏	日詰字牡丹野	散布地・古代	土師器
24	日詰牡丹野	桜町字中桜	散布地・古代	土師器
25	日詰西	日詰西二丁目	散布地・古代	土師器、須恵器
26	平沢松田	平沢字松田、字長尾沢	散布地・古代	土師器
27	平沢松田Ⅲ	桜町字中桜	散布地・古代	土師器、須恵器
28	田頭	桜町字田頭	散布地	一
29	桜町川原	桜町字川原	散布地・古代	土師器、須恵器
30	星山館	星山字間野村	城館跡・中世	一
31	北日詰牡丹野	北日詰字牡丹野	散布地・縄文	縄文土器
32	桜町田頭	桜町字高木	散布地・古代	土師器、須恵器
33	才土地	桜町字才土地	集落跡・古代・中世	陶器、土師器、須恵器
34	北日詰外谷地	北日詰字外谷地、平沢字的場	散布地・縄文・古代	縄文土器、土師器、須恵器
35	北日詰外谷地Ⅰ	北日詰字外谷地	散布地・縄文・古代	縄文土器、石器
36	北日詰外谷地Ⅱ	北日詰字外谷地	散布地・縄文・古代	縄文土器、石器、須恵器
37	北日詰下藪	北日詰字下藪	散布地・古代	土師器
38	大日堂	北日詰字大日堂、字白旗、字橋内、字東ノ坊	集落跡・城館跡	一
39	北日詰城内Ⅱ	北日詰字城内	集落跡・縄文	縄文土器
40	北日詰外谷地Ⅵ	北日詰字外谷地	散布地・古代	土師器
41	北日詰外谷Ⅲ	北日詰字外谷地	散布地	石器
42	北日詰外谷Ⅳ	北日詰字外谷地	散布地	石器
43	北日詰外谷地Ⅴ	北日詰字外谷地	散布地・古代	陶器、土師器
44	北日詰八卦	北日詰字八卦	散布地・古代	土師器、須恵器
45	北日詰東ノ坊Ⅳ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ
46	北日詰東ノ坊Ⅰ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ
47	北日詰東ノ坊Ⅱ	北日詰字東ノ坊、下東ノ坊	散布地・古代・中世	土師器
48	北日詰東ノ坊Ⅲ	北日詰字東ノ坊	散布地・古代・中世	かわらけ
49	北条館	北日詰字城内	城館跡・中世	土師器
50	比爪館	南日詰字箱清水	城館跡・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ
51	北日詰東ノ坊	北日詰字東ノ坊、字城内	散布地・古代	土師器、白磁
52	北日詰城内Ⅰ	北日詰字城内	散布地・古代	土師器、須恵器
53	五郎沼	南日詰字箱清水	散布地・縄文	縄文土器、石器
54	南日詰小路Ⅱ	南日詰字小路	散布地・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ
55	南日詰大銀Ⅰ	南日詰字大銀、字小路	散布地・古代	土師器
56	南日詰小路Ⅰ	南日詰字小路	散布地・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ
57	南日詰大銀Ⅱ	南日詰字小路	城館跡・古代・中世	土師器、須恵器、陶磁器、かわらけ

表1 周辺の主な遺跡一覧表

2 調査の概要

(1) 調査に至る経過

平成31年4月、東北電力株式会社から日詰変電所配線改良工事に係る埋蔵文化財の有無について協議があり、付近に西裏遺跡(LE67-2005)が所在することから令和元年5月22日に試掘調査を実施した。その結果、遺構が確認されたため遺跡発見の通知を行い(日詰西Ⅱ遺跡として登録)、東北電力株式会社へ工事着手前に記録保存調査の実施が必要である旨回答した。

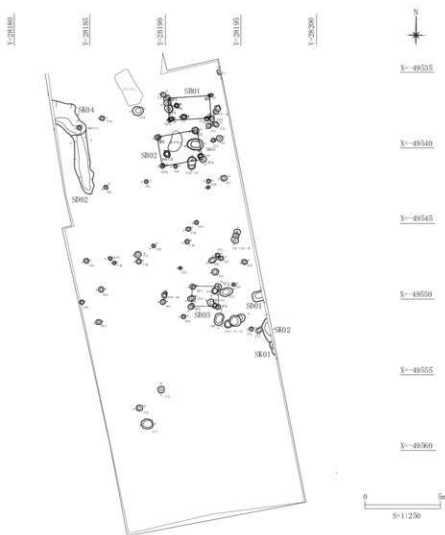
調査に関する協議を重ね、東北電力株式会社と費用負担契約を締結し、令和元年8月1日～令和元年9月4日にかけて記録保存調査を実施した。

(2) 第1次調査の概要

位置 国道4号から西に約0.47km、盛岡南ショッピングセンターNACSから北に約0.45kmに位置し、南北32.2m・東西12.4mの範囲を調査した。

検出遺構 掘立柱建物跡3棟、土坑跡4基、溝跡2条、柱穴77口

出土遺物 縄文土器、石器、国産陶器、その他



第3図 第1次調査遺構配置図(1:250)

3 調査の成果

(1) 検出遺構

SB-01 掘立柱建物跡 (第4図)

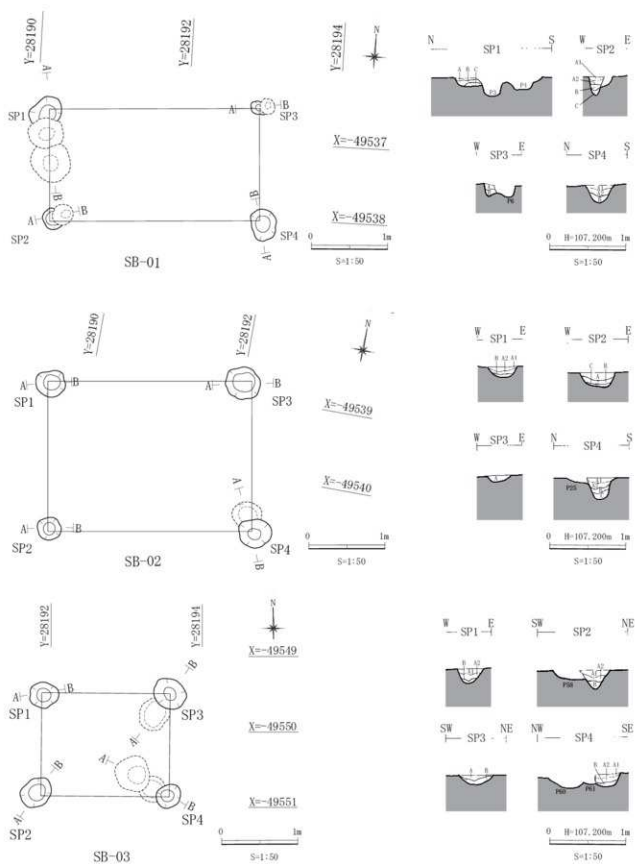
位 置	調査区北東側
平 面 形	桁行1間・梁間1間 (長方形)
重複関係	なし
規 模	東西1間 2.78m (9尺3寸)、南北1間 1.5m (5尺)
棟 方 向	西側で柱列 N 4° E
埋 土	黒褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行 SP 1・SP 3間 2.8m (9尺3寸)、SP 2・SP 4間 2.7m (9尺)、梁間 SP 1・SP 2間 1.45m (4尺8寸)、SP 3・SP 4間 1.52m (5尺1寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは、SP 1-0.12m・SP 2-0.27m・SP 3-0.19m・SP 4-0.25mである。
出土遺物	なし

SB-02 掘立柱建物跡 (第4図)

位 置	調査区北東側
平 面 形	桁行1間・梁間1間 (長方形)
重複関係	なし
規 模	東西1間 2.69m (9尺)、南北1間 1.96m (6尺5寸)
棟 方 向	西側で柱列 N11° E
埋 土	黒褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行 SP 1・SP 3間 2.54m (8尺5寸)、SP 2・SP 4間 2.72m (9尺1寸)、 梁間 SP 1・SP 2間 1.96m (6尺5寸)、SP 3・SP 4間 2.02m (6尺7寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは、SP 1-0.15m・SP 2-0.2m・SP 3-0.09m・SP 4-0.28mである。
出土遺物	なし

SB-03 掘立柱建物跡 (第4図)

位 置	調査区中央
平 面 形	桁行1間・梁間1間 (長方形)
重複関係	なし
規 模	東西1間 1.71m (5尺7寸)、南北1間 1.36m (4尺5寸)
棟 方 向	西側で柱列 N 1° E
埋 土	暗褐色土～明黄褐色土を主体とする。
柱間寸法	桁行 SP 1・SP 3間 1.71m (5尺7寸)、SP 2・SP 4間 1.74m (5尺8寸)、 梁間 SP 1・SP 2間 1.32m (4尺4寸)、SP 3・SP 4間 1.38m (4尺6寸)をはかる。
柱 穴	各柱穴の深さは、SP 1-0.21m・SP 2-0.27m・SP 3-0.11m・SP 4-0.18mである。
出土遺物	なし



第4图 SB-01 ~ SB-03 掘立柱建物跡 平面図・断面図 (1:50)

SB-01

SP1

A層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～塊粒状に締まりは中。

SP2

A1層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
B層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP3

A層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	明黄褐色土主体に、黒褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP4

A1層	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SB-02

SP1

A1層	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
A2層	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP2

A層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP3

A層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
----	----------------------------

SP4

A1層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SB-03

SP1

A1層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	暗褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	明黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP2

A1層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	暗褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黄褐色土主体に、黒色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP3

A層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黄褐色土主体に、褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

SP4

A1層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	暗褐色土を主体に、褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	明黄褐色土主体に、黒褐色土を粉状～粒粒状に締まりは中。

表2 SB-01～SB-03 掘立柱建物跡 埋土注記一覧表

SD-01 溝跡 (第5図)

位置	調査区東側	平面形	浅いU字状	重複関係	なし
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層	壁の状況	緩やかに外傾し立ち上がる
底の状況	ほぼ平坦				
規模	全長0.67m以上、上端0.65m～0.69m、下端0.34m～0.39m、深さ0.18mをはかる。				
埋土	A層～B層に大別する。A層は黒褐色土、B層は明黄褐色土を主体とする。				
出土遺物	なし				

SD-02 溝跡 (第5図)

位置	調査区北西側	平面形	幅広U字状	重複関係	SK-04に切られる。
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層	壁の状況	緩やかに外傾し立ち上がる
底の状況	ほぼ平坦				
規模	全長3.95m以上、上端0.85m～1.16m、下端0.42m～0.52m、深さ0.39mをはかる。				
埋土	A層～F層に大別し、C層・D層は2層に細分する。A層は黒褐色土、B層はにぶい黄褐色土、C層は黒色土、D層は黄褐色土、E層は褐色土、F層は黒褐色土を主体とする。				
出土遺物	なし				

SK-01 土坑跡 (第6図)

位置	調査区東側	平面形	不整楕円形	重複関係	SK-02を切る
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層	壁の状況	緩やかに立ち上がる
底の状況	ほぼ平坦				
規模	上端0.15m以上～0.92m、下端0.08m以上～0.37m以上、深さ0.27mをはかる。				
埋土	A層～E層に大別し、A層は2層に細分する。A層はにぶい黄褐色土、B層は黒色土、C層は黄褐色土、D層は褐色土、E層は黒褐色土を主体とする。				
出土遺物	なし				

SK-02 土坑跡 (第6図)

位置	調査区東側	平面形	不整楕円形	重複関係	SK-01に切られる
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層	壁の状況	ほぼ垂直に立ち上がる
底の状況	ほぼ平坦				
規模	上端0.42m以上～1.55m、下端0.29m～0.92m、深さ0.64mをはかる。				
埋土	A層～I層に大別し、A層・D層・E層は2層に細分する。A層はにぶい黄褐色土、B層褐色土、C層は灰黄褐色土、D層は黒褐色土、E層は黒色土、F層は黒褐色土、G層は黄褐色土、H層は暗褐色土、I層は明黄褐色土を主体とする。				
出土遺物	なし				

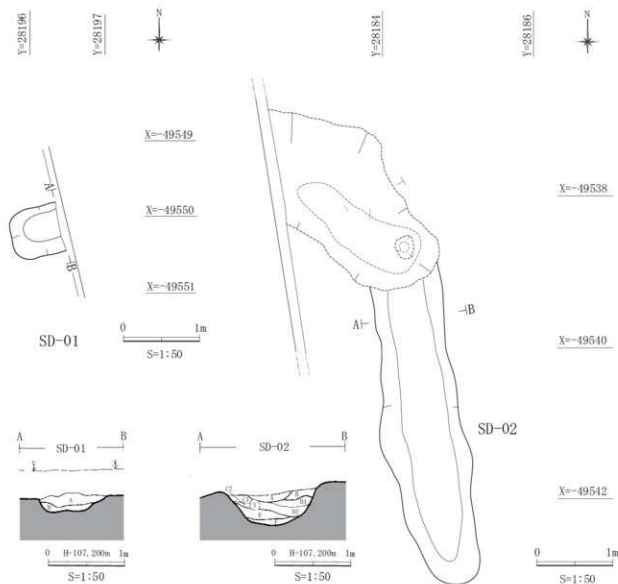
SK-03 土坑跡 (第6図)

位置	調査区北東側	平面形	不整円形	重複関係	なし
掘込面	削平	検出面	黄褐色シルト層	壁の状況	緩やかに立ち上がる
底の状況	ほぼ平坦				
規模	上端0.78m～1.05m、下端0.42m～0.7m、深さ0.13mをはかる。				

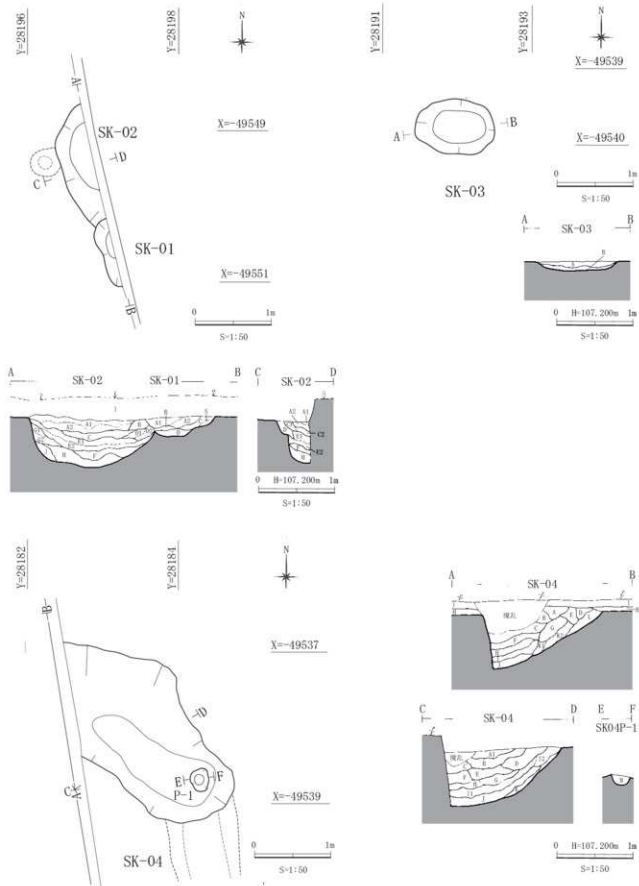
埋 土 A層～B層に大別する。A層は黒褐色土、B層は明黄褐色土を主体とする。
 出土遺物 なし

SK-04 土坑跡 (第6図)

位 置 調査区北西側 平面形 不整形円形 重複関係 SD-02を切る
 掘込面 削平 検出面 黄褐色シルト層 壁の状況 ほぼ垂直に立ち上がる
 底の状況 ほぼ平坦
 規模 上端1.55m～2.41m以上、下端0.55m～0.83m、深さ0.92mをはかる。
 埋 土 A層～L層大別し、K層は2層に細分する。A層は暗褐色土、B層は黒褐色土、C層は明黄褐色土、D層は暗褐色土、E層は黄褐色土、F層はにぶい黄褐色土、G層は黒褐色土、H層はにぶい黄橙色土、I層は黒色土、J層は黒褐色土、K層は黄褐色土、L層は明黄褐色土を主体とする。
 出土遺物 なし



第5図 SD-01・SD-02 溝跡 平面図・断面図 (1:50)



第6图 SK-01 ~ SK-04 土坑跡 平面图·断面图 (1 : 50)

SD-01 溝跡

A層	黒色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは硬。
B層	明黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SD-02 溝跡

A層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	にぶい黄橙色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
C1層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C2層	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D1層	黄褐色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは中。
D2層	黄褐色土を主体に、にぶい黄色土を粒状～塊状に締まりは中。
E層	褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-01 土坑跡

A1層	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黒褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D層	にぶい黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。

SK-02 土坑跡

A1層	にぶい黄褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
A2層	にぶい黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	褐色土を主体に、黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
C層	灰黄褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
D1層	黒褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D2層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E1層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
E2層	黒色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
F層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
G層	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
H層	暗褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I層	明黄褐色土を主体に、黒色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-03 土坑跡

A層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

表3 SD-01・SD-02 溝跡、SK-01～SK-03 土坑跡 埋土注記一覧表

SK-04 土坑跡ベルト①

A層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D層	暗褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E層	黄褐色土を主体に、灰黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F層	にぶい黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H層	にぶい黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K1層	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
K2層	黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
L層	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

SK-04 土坑跡ベルト②

A層	暗褐色土を主体に、にぶい黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
B層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
C層	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
D層	暗褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
E層	黄褐色土を主体に、灰黄褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
F層	にぶい黄褐色土を主体に、黒褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
G層	黒褐色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
H層	にぶい黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
I1層	黒色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
I2層	黒色土を主体に、明黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
J層	黒褐色土を主体に、黄褐色土を粒状～塊状に締まりは中。
K層	黄褐色土を主体に、褐色土を粉状～粒状に締まりは中。
L層	明黄褐色土を主体に、暗褐色土を粉状～粒状に締まりは中。

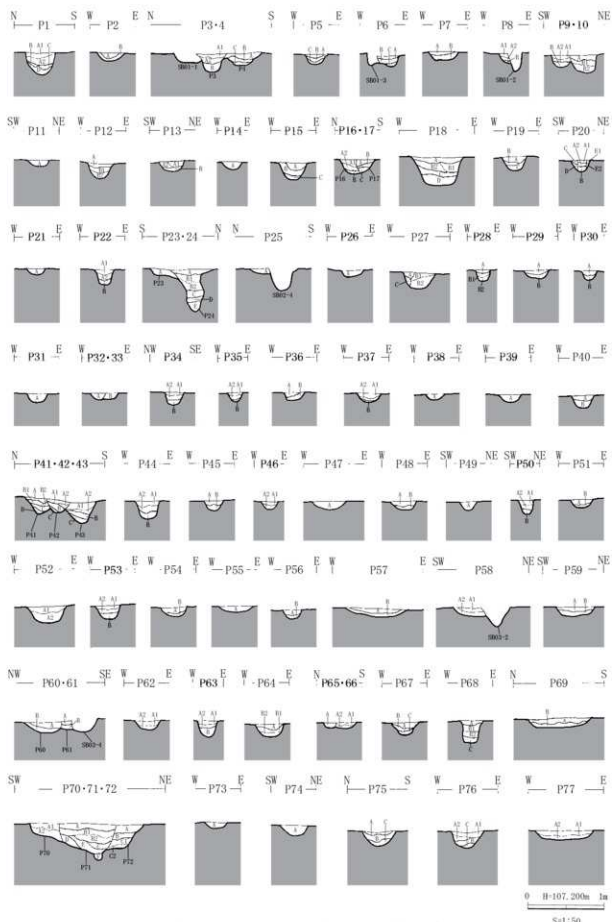
表4 SK-04 土坑跡 埋土注記一覧表

P1～P77 柱穴(表4・第7図)

柱穴は77口検出した。また、埋土観察の結果、明確な柱痕跡を残すものは無かった。各柱穴の規模は次の通りである。

記号	上端(cm)	深さ(cm)	記号	上端(cm)	深さ(cm)	記号	上端(cm)	深さ(cm)	記号	上端(cm)	深さ(cm)
P1	38	38	P21	21	8	P41	26	22	P61	15	12
P2	36	11	P22	26	20	P42	32	18	P62	37	13
P3	40	24	P23	16	8	P43	35	26	P63	28	22
P4	46	15	P24	58	56	P44	36	23	P64	38	16
P5	32	13	P25	24	8	P45	26	11	P65	16	7
P6	28	18	P26	28	8	P46	24	10	P66	28	8
P7	40	12	P27	42	22	P47	46	12	P67	38	16
P8	20	24	P28	20	14	P48	28	10	P68	32	30
P9	24	16	P29	32	12	P49	24	11	P69	81	12
P10	34	24	P30	22	12	P50	20	20	P70	38	24
P11	28	8	P31	26	11	P51	30	10	P71	72	48
P12	36	20	P32	20	10	P52	54	22	P72	38	30
P13	36	12	P33	19	8	P53	33	18	P73	30	8
P14	26	10	P34	26	16	P54	36	14	P74	48	12
P15	38	22	P35	18	12	P55	44	8	P75	45	18
P16	23	18	P36	28	10	P56	22	13	P76	44	29
P17	20	20	P37	32	12	P57	86	12	P77	78	13
P18	72	37	P38	26	8	P58	38	12			
P19	34	20	P39	30	11	P59	50	13			
P20	26	15	P40	30	15	P60	48	14			

表5 P1～P77 柱穴 規模一覧表



第7图 P1~P77 柱穴断面图 (1:50)

(2) 出土遺物 (表6・第8図)

今回の調査では、縄文土器、石器、国産陶器、その他を中型ビニール袋で1袋出土した。その内、実測可能な遺物4点を図化し掲載した。

1) 縄文土器

検出面から1点。1は深鉢の体部で、縦1.9cm・横2.5cm・厚さ0.6cmをはかる。また、沈線を描す。

2) 国産陶器

P56(柱穴)から1点。2は大堀相馬産碗の口部から体部で、縦2.4cm・横2.3cm・厚さ0.3cmをはかる。検出面から2点。3は肥前産染付皿で縦3.8cm・横3.5cm・厚さ0.6cmをはかる。4は瀬戸産播鉢で、縦5.3cm・横6.1cm・厚さ1.3cmをはかり、一帯当たりの条数は12条である。

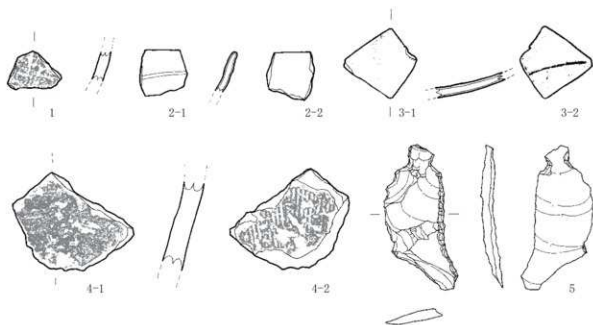
3) 石器

検出面から1点。4は石匙でほぼ完形で、縦8.3cm・横3.2cm・厚さ0.3cmをはかる。

縄文土器・石器、国産陶器

番号	遺構名	出土位置	品種名	部位	縦(cm)	横(cm)	厚さ(cm)	備考
1	-	検出面	深鉢	体部	1.9	2.5	0.6	縄文土器 後期
2	P56	B層	碗	口部~体部	2.4	2.3	0.2	大堀相馬産
3	-	検出面	皿	体部	3.8	3.5	0.6	肥前産染付
4	-	検出面	播鉢	体部	5.3	6.1	1.3	一帯当たりの条件は12条 瀬戸産
5	-	検出面	石篋	完形	8.3	3.2	0.3	縄文時代

表6 出土遺物一覧表



第8図 出土遺物 (1:2)

4 まとめ

日誌西Ⅱ遺跡 第1次調査では、掘立柱建物跡3棟、土坑跡4基、溝跡2条、柱穴77口を検出した。遺物は縄文土器、石器、国産陶器などが出土した。

・掘立柱建物跡

3棟を検出した。掘立柱建物の規模はSB-01が東西1間2.78m（9尺3寸）、南北1間1.5m（5尺）、SB-02が東西1間2.96m（9尺）、南北1間1.96m（6尺5寸）、SB-03が東西1間1.71m（5尺7寸）、南北1間1.36m（4尺5寸）をはかる。3棟全てが1間×1間（長方形）の小規模な掘立柱建物跡である。以上の事から、居住性を有しない倉庫的な目的で構築されたものと思われる。各掘立柱建物跡の埋土中から遺物が発見されなかったため、構築された時代は不明である。

・土坑跡

4基検出した。土坑跡の規模は、SK-01～SK-02・SK-04は不整楕円形、SK-03は不整円形を形状とする。上端の規模は、SK-01が0.15m～0.92m、SK-02が0.42m～1.15m、SK-03が0.78m～1.05m、SK-04が1.51m～2.41mをはかる。各土坑跡の埋土中から遺物が発見されなかったため、構築された時代は不明である。

・溝跡

2条検出した。溝跡の規模は、上端SD-01が0.65m～0.69m、SD-02が0.85m～1.16mをはかる。SD-01はさらに東側にのびるものと推測される。各溝跡の埋土中から遺物が発見されなかったため、構築された時代は不明である。

今回の日誌西Ⅱ遺跡記録保存調査では、各遺構内から時代を判別する遺物が発見出来なかったことから、構築された時代は判然としない。しかし、P56（柱穴）・検出面から国産陶器（大塚相馬産・肥前産）が数点出土していることから、近世（18世紀～19世紀頃）の可能性が高いと思われる。

<引用・参考文献>

- 1972 紫波町 「紫波町史」 第1巻
- 1979 岩手県教育委員会 「東北新幹線関係埋蔵文化財調査報告書-Ⅲ-
- 2018 紫波町教育委員会 「町内遺跡発掘調査報告書V」

Ⅱ 町内遺跡の有無確認調査（令和元年度～令和２年度試掘調査）

・文化財保護法第93条

才土地遺跡、陣ヶ岡遺跡、日詰西遺跡、南日詰遺跡、野沢遺跡、桜町中屋敷遺跡、中田Ⅰ遺跡、北日詰八卦遺跡、吉兵衛館遺跡、中田Ⅱ遺跡、高水寺城（郡山城）跡①・②、大日堂遺跡①・②、田頭Ⅱ遺跡、西長岡長谷田遺跡、北日詰東ノ坊Ⅳ遺跡、南日詰大銀Ⅰ遺跡の16遺跡18箇所。

・文化財保護法第94条

間木沢遺跡の1遺跡1箇所。



第1図 町内遺跡の有無確認調査 調査位置図（1：60,000）

第93条

1) 才土地遺跡

遺跡コード LE67-2088

所在地 桜町字才土地 地内

調査原因 宅地造成工事

調査年月日 平成31年4月18日

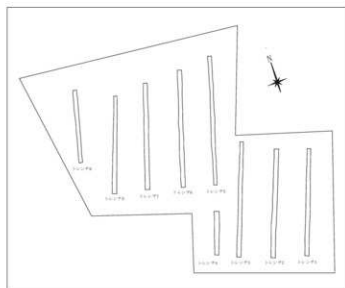
調査面積 5460㎡ (トレンチ9本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

2) 陣ヶ岡遺跡

遺跡コード LE66-0208

所在地 陣ヶ岡字平坊 地内

調査原因 倉庫建築工事

調査年月日 令和元年6月7日

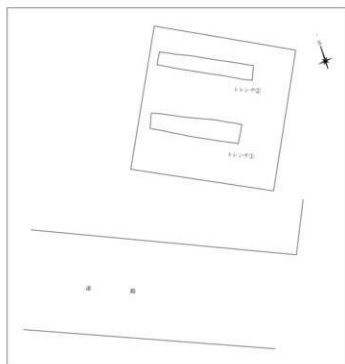
調査面積 64㎡ (トレンチ2本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図①

3) 日詰西遺跡

遺跡コード LE67-2015

所在地 日詰西四丁目 地内

調査原因 個人住宅新築工事

調査年月日 令和元年 7月 16日

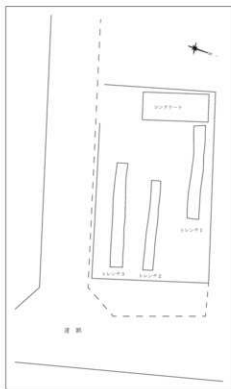
調査面積 187㎡ (トレンチ 3本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

4) 南日詰遺跡

遺跡コード LE77-1088

所在地 南日詰字京田 地内

調査原因 倉庫建築工事

調査年月日 令和元年 9月 19日

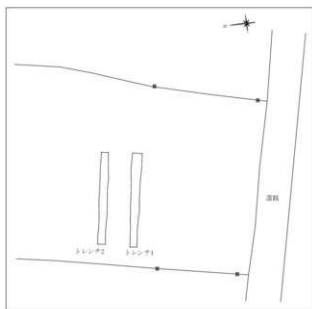
調査面積 183㎡ (トレンチ 2本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図②

5) 野沢遺跡

遺跡コード LE65-1137

所在地 上平沢字野沢 地内

調査原因 資材置き場設置工事

調査年月日 令和元年 11 月 14 日

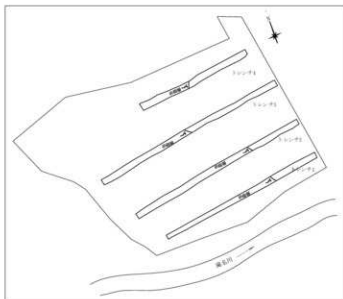
調査面積 3150㎡ (トレンチ 4 本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

6) 桜町中屋敷遺跡

遺跡コード LE67-2068

所在地 桜町字中屋敷 地内

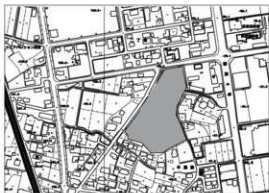
調査原因 宅地造成工事

調査年月日 令和元年 12 月 24 ~ 26 日

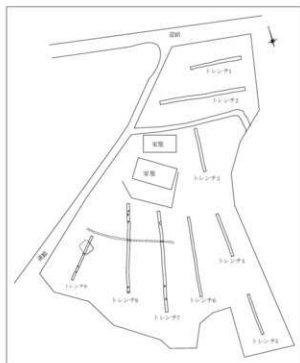
調査面積 19776㎡ (トレンチ 9 本)

検出遺構 竪穴建物、土坑跡、溝跡、柱穴

出土遺物 土師器杯・甕、須恵器杯・甕、国産陶器



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第 93 条 試掘調査位置図・トレンチ平面図③

7) 中田 I 遺跡

遺跡コード LE57-1094

所在地 高水寺字中田 地内

調査原因 個人住宅新築工事

調査年月日 令和2年2月4日

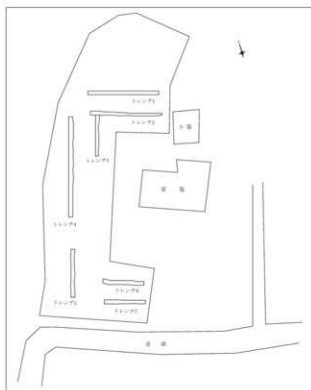
調査面積 2157㎡ (トレンチ7本)

検出遺構 なし

出土遺物 国産陶器



調査位置図



トレンチ平面実測図

8) 北日詰八卦遺跡

遺跡コード LE77-0091

所在地 北日詰字八卦 地内

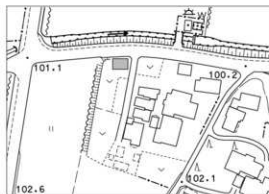
調査原因 個人住宅新築工事

調査年月日 令和2年3月2日

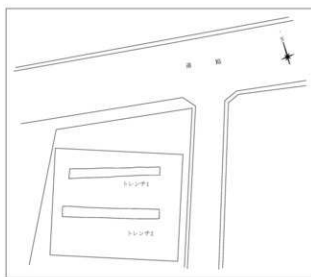
調査面積 154㎡ (トレンチ2本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図④

9) 吉兵衛館遺跡

遺跡コード LE67-0193

所在地 日詰字石田 地内

調査原因 個人住宅新築工事

調査年月日 令和2年4月6日

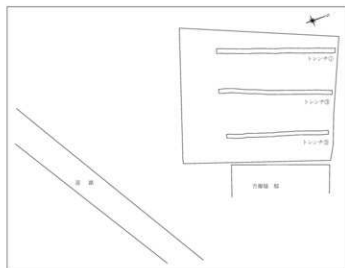
調査面積 600㎡ (トレンチ3本)

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

10) 中田Ⅱ遺跡

遺跡コード LE57-1094

所在地 高水寺字中田 地内

調査原因 集合住宅建設工事

調査年月日 令和2年5月15日

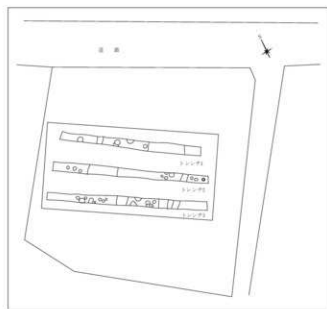
調査面積 374㎡ (トレンチ3本)

検出遺構 竪穴建物跡、土坑跡、溝跡、柱穴

出土遺物 土師器坏・甕、国産陶器



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図⑤

11) 高水寺（郡山城）遺跡①

遺跡コード LE67-0154

所在地 高水寺字山子 地内

調査原因 集合住宅建築工事

調査年月日 令和2年7月16日

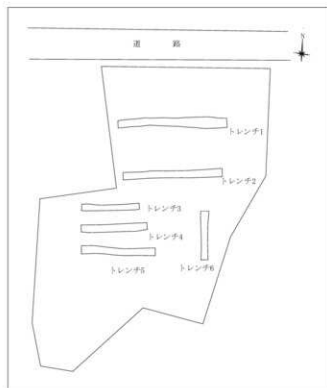
調査面積 730㎡（トレンチ6本）

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

12) 高水寺（郡山城）遺跡②

遺跡コード LE67-0154

所在地 高水寺字向山 地内

調査原因 集合住宅建築工事

調査年月日 令和2年9月23日

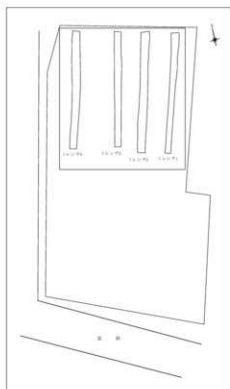
調査面積 348㎡（トレンチ4本）

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図⑥

13) 大日堂遺跡①

遺跡コード LE66-0357

所在地 北日詰字城内 地内

調査原因 宅地造成工事

調査年月日 令和2年10月8日

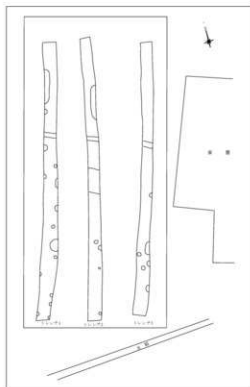
調査面積 514㎡（トレンチ3本）

検出遺構 竪穴建物跡、土坑跡、溝跡、柱穴

出土遺物 土師器坏・甕、国産陶器



調査位置図



トレンチ平面実測図

14) 大日堂遺跡②

遺跡コード LE66-0357

所在地 北日詰字城内 地内

調査原因 宅地造成工事

調査年月日 令和2年10月8日

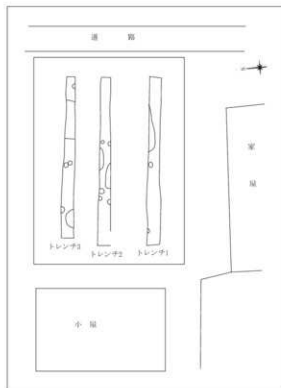
調査面積 182㎡（トレンチ3本）

検出遺構 竪穴建物跡、土坑跡、溝跡、柱穴

出土遺物 土師器坏・甕、国産陶器、縄文土器



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図⑦

15) 田頭Ⅱ遺跡

遺跡コード LE67-2045

所在地 桜町字田頭 地内

調査原因 新店舗建設工事

調査年月日 令和2年11月12日

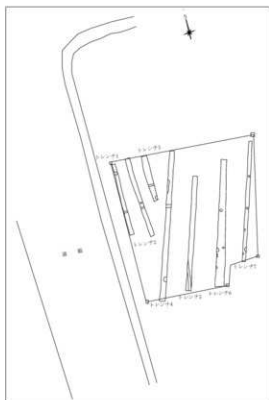
調査面積 1284㎡（トレンチ7本）

検出遺構 溝跡、土坑跡、柱穴

出土遺物 土師器坏、国産陶器



調査位置図



トレンチ平面実測図

16) 西長岡長谷田遺跡

遺跡コード LE57-1360

所在地 西長岡字長谷田 地内

調査原因 個人住宅新築工事

調査年月日 令和2年11月17日

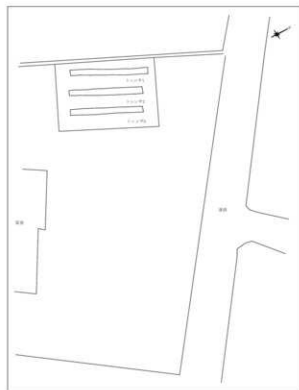
調査面積 153㎡（トレンチ3本）

検出遺構 なし

出土遺物 なし



調査位置図

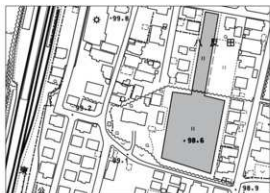


トレンチ平面実測図

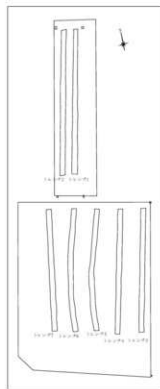
文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図⑧

17) 北日詰東ノ坊Ⅳ遺跡

遺跡コード LE77-0074
 所在地 北日詰字東ノ坊 地内
 調査原因 宅地造成工事
 調査年月日 令和2年11月25日
 調査面積 4240㎡（トレンチ7本）
 検出遺構 なし
 出土遺物 なし



調査位置図



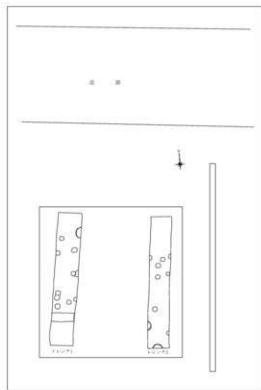
トレンチ平面実測図

18) 南日詰大銀Ⅰ遺跡

遺跡コード LE77-1101
 所在地 南日詰字大銀 地内
 調査原因 個人住宅建築工事
 調査年月日 令和2年12月27日
 調査面積 118㎡（トレンチ2本）
 検出遺構 溝跡、土坑跡、柱穴
 出土遺物 土師器坏・甕、須恵器甕、かわらけ



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第93条 試掘調査位置図・トレンチ平面図⑨

第94条

1) 間木沢遺跡

遺跡コード LE67-1139

所在地 犬吠森字間木沢 地内

調査原因 新校舎建築工事

調査年月日 令和元年9月30日

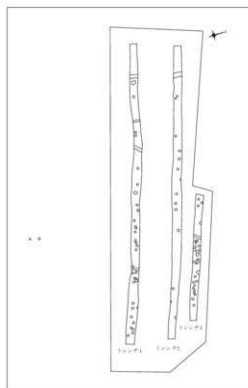
調査面積 1860㎡ (トレンチ3本)

検出遺構 土坑跡、溝跡、陥し穴、柱穴

出土遺物 縄文土器、石器、国産陶器、土師器坏・甕



調査位置図



トレンチ平面実測図

文化財保護法第94条 試掘調査位置図・トレンチ平面図

写 真 图 版



調査区全景 (北から)



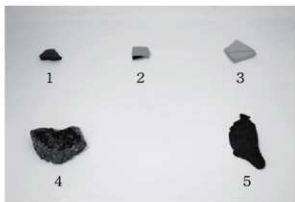
SK-01・02 断面 (西から)



SK-04 断面 (南から)



SD-02 断面 (南から)



出土遺物



才土遺跡 (全景)



才土遺跡トレンチ 8



陣ヶ岡遺跡 (全景)



陣ヶ岡遺跡トレンチ 1



日誌西遺跡 (全景)



日誌西遺跡トレンチ 1



南日誌遺跡 (全景)



南日誌遺跡トレンチ 1



野沢遺跡 (全景)



野沢遺跡トレンチ 2



桜町中屋敷遺跡トレンチ 5



桜町中屋敷遺跡トレンチ 9



中田 I 遺跡トレンチ 4



中田 I 遺跡トレンチ 6



北日詰八卦遺跡 (全景)



北日詰八卦遺跡トレンチ 1



吉兵衛館跡（全景）



吉兵衛館跡トレンチ 1



中田Ⅱ遺跡（全景）



中田Ⅱ遺跡トレンチ 1



高水寺城（郡山城）跡①（全景）



高水寺城（郡山城）跡①トレンチ 1



高水寺城（郡山城）跡②（全景）



高水寺城（郡山城）跡②トレンチ 4



大日堂遺跡①トレンチ 1



大日堂遺跡①トレンチ 2



大日堂遺跡②トレンチ 1



大日堂遺跡②トレンチ 2



田頭Ⅱ遺跡 (全景)



田頭Ⅱ遺跡トレンチ 5



西長岡長谷田遺跡 (全景)



西長岡長谷田遺跡トレンチ 2



北日詰東ノ坊Ⅳ遺跡（全景）



北日詰東ノ坊Ⅳ遺跡トレンチ 3



南日詰大銀Ⅰ遺跡トレンチ 1



南日詰大銀Ⅰ遺跡トレンチ 2

第 6 図版 文化財保護法第 93 条試掘調査状況⑤



桜町中屋敷遺跡



南日詰大銀Ⅰ遺跡

第 7 図版 文化財保護法第 93 条試掘調査 出土遺物



間木沢遺跡（全景）



間木沢遺跡トレンチ 1

第 8 図版 文化財保護法第 94 条試掘調査状況

抄 録

ふりがな	ちょうないいせきはくつちょうさほうこくしょな
書名	町内遺跡発掘調査報告書Ⅶ
副書名	
巻次	
シリーズ名	紫波町埋蔵文化財調査報告書 2021
シリーズ番号	
編集者名	鈴木賢治
編集機関	紫波町教育委員会
所在地	岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1
発刊年月日	令和3年3月

所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査	岩手県紫波郡 紫波町 日詰西五丁目		LE67-1085	39° 33' 12"	141° 09' 39"	R1.8.1 ～ R1.9.4	399.3㎡	東北電力ネットワーク株式会社日詰変電所配管改良工事に伴う緊急発掘調査。

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
日詰西Ⅱ遺跡 第1次調査	散布地	近世	掘立柱建物跡 土坑跡 溝跡 柱穴	土師器・甕 縄文土器 石匙 国産陶器 その他	

令和元年～令和2年度 町内遺跡の有無確認調査

文化財保護法第93条		文化財保護法第94条
1) 才土地遺跡	10) 中田Ⅱ遺跡	1) 間木沢遺跡
2) 陣ヶ岡遺跡	11) 高水寺城（郡山城）遺跡①	
3) 日詰西遺跡	12) 高水寺城（郡山城）遺跡②	
4) 南日詰遺跡	13) 大日堂遺跡①	
5) 野沢遺跡	14) 大日堂遺跡②	
6) 桜町中屋敷遺跡	15) 田頭Ⅱ遺跡	
7) 中田Ⅰ遺跡	16) 西長岡長谷田遺跡	
8) 北日詰八卦遺跡	17) 北日詰東ノ坊Ⅳ遺跡	
9) 吉兵衛館遺跡	18) 南日詰大銀Ⅰ遺跡	

町内遺跡発掘調査報告書 Ⅶ

2021年3月

- 編 集 紫波町教育委員会
〒028-3392 岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前二丁目3番地1
TEL 019-672-2111 (代) FAX 019-672-1553
- 発 行 東北電力ネットワーク株式会社
紫波町教育委員会
- 印 刷 河北印刷株式会社
〒020-0015 岩手県盛岡市本町通2丁目8番7号
TEL 019-623-4526 FAX 019-623-0976
-